

中期以降の認知症の人の家族向け

家族が学ぶ認知症のこと ～ 連続講座～

参加無料

認知症の症状が中期に差し掛かると、家族のサポート方法も変わってきます。ケアの工夫やコミュニケーションの方法、少し先のことを知っておくことは大切なことです。

この講座では、5回に分けて中期以降の認知症について学びます。講座後、毎回家族交流会を実施します。

6月10日（火）

少し先のことを知っておきましょう

講師：認知症の人と家族の会
京都府支部

2月9日（月）（13時～15時）

ケアラー条例について

講師：認知症の人と家族の会
京都府支部

8月5日（火）

認知症の人の意思決定支援

講師：佛教大学 濱吉 美穂氏

場所 佛教大学 二条キャンパス

JR嵯峨野線 二条駅

地下鉄（東西線）二条駅

時間 12時20分～14時20分

対象 中期以降の認知症の人の家族
認知症ケアにかかわる専門職の方

10月7日（火）

認知症のある人の「ウェルビーイング」

講師：佛教大学 白井 はる奈氏

申し込み

電話、メールでお申し込みください

電話：050-5358-6577

（留守電対応になります。後ほどかけ直します）

メール：kyoto@alzheimer.or.jp



12月9日（火）

認知症の人を無理なく支える身体介護

講師：佛教大学 奥山 紘平氏

この講座は京都市、佛教大学、認知症の人と家族の会京都府支部の共催です
本研修は京都地域包括ケア推進機構の京都地域包括ケア推進団体等交付金事業によって開催しています